

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## ポピンズナーサリースクール片倉町

横浜市神奈川区神大寺 4-16-6

運営主体: 株式会社 ポピンズ

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価（評価結果についての講評）	2～4 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	5～7 ページ
● 分類・項目別評価結果	8～20 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	21～28 ページ
● 利用者本人調査分析	29～30 ページ
● 事業者コメント	31 ページ

公表日: 2017 年 11 月 21 日

実施機関: 特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	ポピンズナーサリースクール片倉町（保育所）		
報告書提出日	2017年9月27日	評価に要した期間	5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### ■評価方法

<b>1、自己評価</b> 実施期間 2017年4月21日～2017年6月19日	① 施設長より非常勤職員を含む全職員に第三者評価の主旨や評価基準、内容について伝え、各自が自己評価を行った。 ② 施設長、主任、リーダーの会議で「園のまとめ」を作成した。 ③ 6月のミーティングで各自の自己評価を持ち寄り、「園のまとめ」と各自の意見をすり合わせ、まとめた。
<b>2、利用者家族アンケート調査</b> 実施期間 2017年6月23日～2017年7月7日	① 全園児の保護者（48世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
<b>3、訪問実地調査</b> 実施日：第1日 2017年7月28日 第2日 2017年8月3日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：各クラスで保育観察。 ③ 午後：書類調査。施設長に面接調査。  [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：各クラスで保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士6名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員2名、主任に個別に面接調査。 その後、施設長に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
<b>4、利用者本人調査</b> 実施日：第1日 2017年7月28日 第2日 2017年8月3日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

ポピンズナーサリースクール片倉町は、横浜市営地下鉄ブルーライン片倉町駅から徒歩10分ほどの所にあります。大通り沿いにあり、商店やスーパー、医院などが並んでいますが、一歩中に入ると静かな住宅地となっています。近隣には自然豊かな公園が多数あり、子どもたちの散歩コースとなっています。

ポピンズナーサリースクール片倉町は、平成25年（2013年）に株式会社ポピンズによって設立されました。運営法人は、首都圏を中心に認可保育所や小規模保育室、病児・病後児保育室、学童クラブ等の保育・教育関連施設を多数運営するほか、ベビーシッターサービス、高齢者在宅ケアサービスなどの事業を行っています。

重量鉄鋼造3階建ての園舎は、日当たりがよく明るい印象です。人工芝が張られた園庭には砂場の設備があります。3階は屋上園庭となっていて、夏場には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。また、近くの貸し農園を借り、子どもたちが野菜の栽培をしています。

定員は60人（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7:00～20:00、土曜日は7:00～16:00です。

企業理念は、「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」、保育目標は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します。1、寛容な人間 2、聡明で愛情深い人間 3、探究心の旺盛な人間 4、グローバル社会で活躍できる人間」です。

### ◆ 高く評価できる点

#### 1、保育士に優しく受け止めてもらい、子どもたちはのびのびと自分を表現し、様々なことを学び成長しています

保育士は、子どもの日々の行動から子どもの育ちを読み取り、個々の子どもに合わせた支援をしています。

乳児は、子どもの発達や成長に合わせて、小集団で活動できるようにしています。例えば、0歳児の離乳食は一斉の食事とせず、段階ごとの一人または二人で丁寧に対応しています。保育士は子どもに寄り添い、子どもの言葉や行動などから子どもの気持ちを推察し、一つずつ言葉にして確認しています。保育士にたくさん話しかけてもらい、自分の思いを受け止めてもらっているため、子どもたちはおしゃべりが上手で、幼児になると友達と話し合ってもめ事を解決したり、活動内容を決めたりすることが出来るように育っています。自由遊びの時間には、一人で落ち着いて絵本や図鑑をみたり、保育士と折り紙をしたり、数人でのブロック遊びやままごと遊びなど、それぞれに自由に遊びを楽しんでいます。

園では、0歳児クラスからリトミック（リズム遊び）や、バイリンガル（英語の言葉遊び）の時間を設けています。子どもの年齢や発達に合わせた取り組みで、子どもたちの楽しみとなっています。また、夏祭りのテーマを世界の祭りとするなど、子どもたちは遊びながら他の国の文化や言葉に触れています。天気が良ければ戸外で活動する時間を積極的に取り、近隣に散歩に出かけたり、園庭や屋上で遊んだりしています。散歩の距離設定や、園内活動での運動用具の選択など、子どもの年齢や発達に即した遊びの環境を作っています。近隣には、自然豊かな公園が多くあり、子どもたちは身体を動かすだけでなく、季節の花を見たり、虫を観察したりし、季節の自然に触れて五感を刺激し、科学する目を養っています。また、2・3歳児、4・5歳児が同じ保育室を用いて日常的に異年齢で交流していて、年上の子どもが年下の子どものもめ事を仲裁したり、年下の子どもが年上の子どもの遊びを真似したりする姿があちこちで見られます。

このように、子どもたちは園生活をのびのびと楽しみ、生活を通して様々な学びを得ています。

## 2、保育士は園内研修やカンファレンスで研鑽を積み、目指す方向性を共有して連携して、保育にあたっています

園では、新人研修を始めとし、毎月のミーティングや園内研修で折に触れて、企業理念や保育目標を取り上げ、周知を図っています。また、職員の心得として園で大切にすることを箇条書きにして掲示しています。子どもへの言葉遣い、子どもに寄り添う姿勢などを具体的に示し、子どもの命・心・体を守る意識の共有を徹底しています。

研修も盛んで、運営法人の新人研修、ステップアップ研修、次期リーダー研修、リーダー研修、施設長研修などの研修に該当する職員が参加しています。救命救急やマニュアルの見直しなどの内部研修のほか、マニュアルや理念・方針、嘔吐処理等をパソコンで好きな時に学べるようEラーニング化し、正規職員、非常勤職員ともに学習しています。外部研修にも積極的に参加し、成果を保育の現場に活かしています。また、保育士が作成した、クラスでの子どもの姿の写真から子どもの成長・発達とそれに対する働きかけについて考察したドキュメンテーションを用いてカンファレンスで事例検討をし、理念の実現を目指しています。

園長、主任、リーダーはクラスを回ったり保育に入ったりする中で、個々の保育士が理念や方針を理解しているかを確認し、必要に応じて指導したり、相談したりしています。

このような取り組みを通して、保育士は目指す方向性を共有し、連携して保育にあたっています。

## 3、保護者との信頼関係を構築するため、職員は保護者とのコミュニケーションに努めています

園は、園の取り組みを保護者に理解してもらえるよう、様々な工夫をしています。玄関に毎月の月案や子どもの姿から子どもの成長を考察したドキュメンテーションを掲示し、保護者に園の取り組みが理解されるようにしています。また、ウェブ連絡ノート(乳児)やウェブメモ帳(幼児)でその日の子どもの様子やクラスの様子を伝えるだけでなく、毎日の活動の様子を写真に撮って玄関に掲示し保護者に伝えています。

園は保護者に「顧客満足度調査」としてアンケートを実施していて、アンケートの内容は、サービスの品質・子どもが保育を受ける環境・スタッフの言葉遣いなど、多岐にわたっています。朝夕の送迎時には、保護者との会話に努め、子どもの様子を口頭で伝え、保護者の意見や要望を丁寧に聞き取っています。事務室が玄関に面していて、毎日、園長が保護者と会話を交わして子どもや保護者の様子を把握し、意見や要望を聞いたり、相談にのったりしています。

### ◆ さらなる成果が期待される点

#### 1、地域に向けて園を開いていくことが期待されます

子どもたちは、散歩で近隣の人たちと親しく挨拶を交わし会話し、交流しています。また、地域の貸し農園を借り、畑作業を通して地元の人々との交流を深めています。農園では地域の人々が様々な形で子ども達の畑を手伝ってくれています。ただし、地域住民を園行事に招待するなど、園からの働きかけは今後の課題となっています。検討中の敬老の日やハロウィンに日頃お世話になっている地域住民を招待する企画を実現するなど、園をより地域に開いていくための取り組みが期待されます。また、園からのお知らせは、園舎の歩道側の窓に掲示していますが、地域住民の目には止まりにくい位置の掲示とな

っています。より積極的な広報に向けた、掲示の場所や方法などの検討が期待されます。

## ◆ 改善や工夫が期待される点

### 1、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます

地域の子育て支援サービスとして、「赤ちゃんの駅」事業（子育て中の親子におむつ替えや授乳の場所を提供する）に参加し、毎週火・木曜日の 9:30～14:30 に受け入れています。また、近隣保育園と共同開催の育児講座を実施しています。ただし、園の特徴を生かした育児支援事業を展開するまでには至っていません。開園 5 年目を迎え保育が落ち着いてきたこともあり、園の蓄えてきた専門性を地域に還元していくことが期待されます。

また、実習生や小中高生の体験学習などの受け入れも今後の課題となっています。今後は、次世代育成に向けて取り組まれることが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

### 1、人権の尊重

- ・企業理念は「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」、保育目標は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します。1、寛容な人間 2、聡明で愛情深い人間 3、探究心の旺盛な人間 4、グローバル社会で活躍できる人間」で、利用者本人を尊重したものとなっています。企業理念、保育目標を玄関に掲示するとともに、月末のミーティングで職員が企業理念・保育目標を唱和し確認しています。
- ・子ども虐待対応マニュアルがあり、全職員に周知しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合は、神奈川県子ども家庭支援課、中央児童相談所と連携しています。
- ・子どもの人権尊重については、職員に対し施設長が折々に話す機会を作っています。さらに、職員の心得として園で大切にすることを箇条書きにして掲示しています。子どもへの言葉遣い・子どもに寄り添う姿勢などを具体的に示し、子どもの命・心・体を守る意識の共有を徹底しています。
- ・運営法人で定めた個人情報管理規定があり、守秘義務の意義や個人情報の取り扱いについて全職員に周知しています。子どもの個人情報に関する記録は、書庫に施錠して管理しています。保護者には、入園時に配付する重要事項説明書に明記し説明しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・子どもの発達や状況に応じて、指導計画の作成・評価・見直しをしています。0・1・2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には個別指導計画を作成しています。
- ・0歳児クラスからリトミック（リズム遊び）や、バイリンガル（英語の言葉遊び）の時間を設けています。子どもの年齢や発達に合わせた取り組みを通して子どもたちの表現力を養っています。
- ・子ども同士のけんかについては、子どもたちが「危険なことをしない」「友達を傷つける言葉を使わない」などのルールを学びながら、自分の意見をきちんと言い合える友達関係となるように、職員は見守る姿勢です。
- ・天気の良い日には、散歩や園庭・屋上での屋外遊びなどを積極的にとりいれています。散歩の距離設定や、園内活動での運動用具の選択など、子どもの年齢や発達に即した遊びの環境を作っています。また、近隣の貸し農園を借り、花や野菜を育てる経験をしています。
- ・毎年、保護者に「顧客満足度調査」としてアンケートを実施しています。結果は分析し、園方針に対する保護者の意識把握に役立てています。
- ・毎日の連絡ノートは全てウェブ上で行うシステムにしています。0～2歳児クラスは個別に行い、3歳児以上は、原則としてクラス全体の様子を一齐配信の形で行っています。3歳児以上であっても、その日に確実に保護者に伝えたい事柄がある場合には、個別に配信しています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・子どものかかりつけ医が記載した「アレルギー疾患生活管理指導表」を保護者に提出してもらい、それに基づき適切な対応をしています。食物アレルギーマニュアルが整備されていて、職員に周知しています。除去食の提供にあたっては、事前に保護者に献立表を配布し、保護者に確認してもらっています。
- ・苦情解決責任者は施設長、苦情受付担当者は主任で、重要事項説明書に明記するとともに、玄関に掲示し保護者に周知しています。第三者委員を設置し連絡先を玄関に掲示し、直接申し立てられるようにし

ています。要望や苦情は、毎月のミーティングで職員に報告し、解決策について話し合っています。苦情・要望は「保護者対応シート(相談、要望、面談)」に記載し、個人ファイルとして綴じ込まれています。

- ・毎朝、看護師と施設長が全クラスを巡回し複数の目で子どもの健康状態の把握をしています。各クラスの「視診表」には、子どもの様子や状態に気になることがあれば書き込み、職員間で共有をしています。
- ・健康管理、衛生管理、安全管理、危機管理などの各種マニュアルを整備し全職員に周知しています。

#### 4、地域との交流・連携

- ・神奈川区子育て支援連絡会に参加し、「横浜市親と子のつどいの広場 ママといっしょ！」での育児講座開催や、近隣保育園と共同開催の育児講座を実施しています。
- ・地域への子育て支援サービスとして、「赤ちゃんの駅」事業（子育て中の親子におむつ替えや授乳の場所を提供する）に参加し、毎週火・木曜日の 9:30～14:30 に受け入れています。育児相談は随時受け付けています。
- ・園からのお知らせは、園舎の歩道側の窓に掲示していますが、地域住民の目には止まりにくい位置の掲示となっています。掲示の場所や方法に、より積極的な広報の検討が期待されます。
- ・地域の貸し農園を借り、畑作業を通して地元の人々との交流を深めています。農園では地域の人々が様々な形で、子どもたちの畑を手伝ってくれています。ハロウィンでは、地域の商店・医院・地区センター・ケアプラザなどにあらかじめ依頼し、子どもたちの訪問を迎えてもらっています。また、園内行事で子どもの声などが大きくなりそうな時には、園周辺のお宅に書状を持って、施設長が挨拶に回るなどきめ細かな配慮をしています。
- ・幼保小教育連携事業の一環として近隣小学校・保育園との交流があります。近隣他園とは公園で待ち合わせをして一緒に遊ぶ遠足や、8園合同のサッカー大会などを、活発に行っています。
- ・ボランティアや実習生の受け入れの為のマニュアルなどはなく、受け入れの取り組みは十分なものになっていません。今後受け入れ態勢を整備し、受け入れていく予定です。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・服務心得に職員が守るべき法・規範・倫理などが明文化されています。また、「ポピンズスタッフの心得」に職員があるべき姿を明記し、トイレに掲示し、職員がいつでも確認できるようにしています。他施設での不正や不適切な事案については、ミーティングで取り上げたり、トイレや職員更衣室に掲示し、職員に周知しています。
- ・保護者代表、外部委員からなる運営委員会があり、重要な意思決定にあたり意見交換しています。保護者へのウェブ配信の導入など、重要な意思決定にあたり、施設長は職員および保護者に、目的、決定理由、経過等を説明し、意見交換しています。
- ・薬品・薬品管理、非常食管理、食育などの係を異なる部門の職員で編成し、組織的に取り組んでいます。
- ・施設長は、横浜市私立保育園園長会、神奈川区園長会、神奈川区子育て支援連絡会などの各種会議や研修に参加し、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。運営に関する重要な情報は施設長、主任、リーダーからなるトップ会議で報告し、話し合っています。重要な改善課題は、ミーティングで職員に周知し、改善策について検討しています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ・職位制度に基づく人材育成計画が策定されています。新人研修、ステップアップ研修、次期リーダー研修、リーダー研修、施設長研修などの運営法人による研修があり、組織的に人材育成をしています。

- ・内部研修として、マニュアルの見直しや救命救急、研修報告などを行っています。また、マニュアル、理念・方針、嘔吐処理などは、パソコンで好きな時に学べるようEラーニング化し、正規職員、非常勤職員ともに学習しています。職員は横浜市や神奈川区、白峰学園研修センターなどが主催する外部研修に積極的に参加しています。また、運営法人の各種研修にも参加しています。
- ・保育士は、クラスでの子どもの姿を写真にとり、子どもの成長・発達とそれに対する働きかけについて考察し、ドキュメンテーションとして毎月提出しています。カンファレンスでは、提出された何件かを取り上げて話し合いをし、事例検討をしています。
- ・職員は自己評価シートを用い自己評価を行っています。年度末に保育園の自己評価と利用者アンケート（ISOアンケート）を基にした評価をしています。園の自己評価をホームページで公表しています。また、運営委員会で報告しています。
- ・運営法人が年1回職員アンケートを実施し、満足度や意見、提案等を聞いています。また、施設長は年2回の面談で職員の満足度や要望を聞いています。面談は必要に応じて随時受け付けています。残業についての現場からの声を受けて「ノー残業デー」を作るなど、職員の業務改善に積極的に取り組んでいます。

## 分類別評価結果

※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。

※  ←「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。  
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業理念は「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」、保育目標は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します。1、寛容な人間 2、聡明で愛情深い人間 3、探究心の旺盛な人間 4、グローバル社会で活躍できる人間」で、利用者本人を尊重したものとなっています。企業理念、保育目標を玄関に掲示するとともに、月末のミーティングで職員が企業理念・保育目標を唱和し確認しています。</li> <li>・保育課程は子どもの最善の利益を第一義とし理念や方針、家庭の状況や地域性を考慮し、作成しています。保育課程は年度末に見直し、ミーティングにおいて職員間で共有しています。保護者に対しては、指導計画について説明していますが、保育課程そのものについて改めて説明することはしていません。保護者の理解を深めるためにも保育課程についても開示することが期待されます。</li> <li>・保育課程に基づき、年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画を作成しています。保育士は子どもの態度や表情などを観察し、子どもの意思を汲み取っています。言語化できる子どもからは意見や要望を聞いています。子どもの関心や意見は指導計画の見直しに活かしています。子どもの声を聞いて散歩の行先を決めるなどしています。また、外遊びをしたくない子どもは室内で遊べるようにするなど、子どもの意向に合わせて計画を柔軟に変更しています。</li> </ul>

## I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園説明会で、施設長が重要事項について説明し、その後保育士が親子面接をしています。面接時には、看護師、栄養士が巡回し、生育歴や既往症、アレルギー、ミルクや離乳食の確認をしています。親子面接では、子どもの様子も観察しています。入園までの生育歴や家庭の状況などは、児童票、児童健康表、「お子様について」、食事調査票に保護者に記入してもらい、確認しています。面接時に把握された情報は面接シートに記載し、ミーティングで報告しています。
- ・入園説明会で慣らし保育について説明し、子どもや保護者の状況に合わせて保護者と相談しながら慣らし保育を実施しています。0・1歳児の新入園児に対しては、主に担当する保育士を決めています。タオルやぬいぐるみ、毛布など子どもが心理的拠り所とする物を持ち込むことが出来ます。
- ・慣らし保育の時間をずらし在園児と個別に関わる時間をつくるなど、在園児への配慮をしています。
- ・子どもの発達や状況に応じて、指導計画の作成・評価・見直しをしています。指導計画は、クラスミーティングで作成した指導計画案を基に、ミーティングで話し合い作成しています。保護者アンケートや懇談会などで把握した保護者の要望や意見は、ミーティングで検討し、行事の見直しなど指導計画に反映しています。

## I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・清掃マニュアル、清掃チェック表に基づいて清掃されていて、園の屋内・外とも清潔に保たれています。温・湿度計を保育室に設置し、エアコン、加湿器付空気清浄機を用いて温・湿度の管理をしています。
- ・保育士は穏やかに子どもに話しかけていて、保育士の声が騒音になることはありませんでした。2・3歳児、4・5歳児は同じ保育室を用いていますが、3～5歳児と一緒に朝の会をやる、保育士同士が相談し静かな活動をする時間をずらすなどの工夫をし、それぞれのクラスが年齢にふさわしい活動が出来るように工夫しています。
- ・0・1歳児のトイレには沐浴設備、2階トイレには温水シャワーの設備があります。沐浴設備・温水シャワーの設備は毎日清掃して清潔に保たれていて、管理が行き届いています。
- ・0歳児、1歳児の保育室は仕切りやテーブルを用いて保育室を分け、小集団で活動できるようにしています。1歳児保育室、2・3歳児保育室、4・5歳児保育士では、食べる・寝るの機能別の空間を分けています。0歳児は1歳児保育室で食事しています。2・3歳児、4・5歳児は一つの保育室を分けて用いて日常的に交流しています。0・1歳児は食事を一緒にし、交流しています。

## I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに適した個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・0・1・2歳児は個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には個別指導計画を作成しています。個別の目標、計画は毎月のミーティングで話し合い、見直しています。また、子どもの状況に変化があった場合には、柔軟に変更・見直しています。子どもの発達状況に応じて保護者の個人面談を行い、子どもの状況を説明して保護者の意向を確認し、同意を得ています。
- ・子どもや家庭の個別の状況、要望は、入園時に保護者に児童票、「お子様について」に記載してもらっています。入園後の子どもの成長発達の記録は、成長記録に記録しています。児童票、「お子様について」児童健康票、面接シート、成長記録などは、個別のファイルにまとめられています。記録は鍵のかかる保管庫に置かれていて、必要な職員がいつでも確認することが出来ます。毎月、毎週のミーティングでも確認しています。進級時には個人ファイルをもとに、口頭で申し送りをしています。

## I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。
- (5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。
- ・毎月・毎週のミーティングで個別のケースについて話し合い、記録しています。子どもに関する情報は記録し、職員間で共有しています。
- ・園はバリアフリー構造となっていて、玄関スロープ、障害者用トイレ、エレベーターの設備があります。
- ・保護者の同意を得て、東部地域療育センター、横浜市総合リハビリテーションセンターから助言や情報を得ています。障がいの特性を考慮した個別指導計画が策定されています。障がい児保育についての研修に参加した職員は、資料を回覧したりミーティングで報告したりし、職員間で共有しています。
- ・保育士は子どもの特性を考慮して分かりやすく短い言葉で説明したり、障がいのある子どもの気持ちを他の子どもに代弁したりし、障がいがある子どもが無理なく他の子どもと生活していけるように支援しています。他の子どもたちは障がいをもつ個性を受け止めていて、さりげなく手助けするなどしています。調査時にも、年上の子どもが、障がいのある子どもの気持ちを他の子どもたちに代弁し、仲立ちしている場面を見ることが出来ました。
- ・子ども虐待対応マニュアルがあり、全職員に周知しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合は、神奈川区こども家庭支援課、中央児童相談所と連携しています。
- ・子どものかかりつけ医が記載した「アレルギー疾患生活管理指導表」を保護者に提出してもらい、それに基づき適切な対応をしています。食物アレルギーマニュアルが整備されていて、職員に周知しています。ミーティングで食物アレルギーのある子どもの状況について報告し、職員間で共有しています。除去食の提供にあ

たっては、事前に保護者に献立表を配布し、保護者に確認してもらっています。除去食を提供する場合には、専用トレイ、子どもの写真がついた食札を用い、乳児はエプロンの色も別にしていきます。給食室からの引き渡し時、子どもへの提供時には複数の職員が口頭で確認し、席も別にし、保育士が傍について誤食を防いでいます。

- ・食文化の違いで給食になじめない子どもに対して、保護者に給食の味付けについて丁寧に説明しながら進めるなど、文化や生活習慣の違いを認め、尊重しています。全クラス、バイリンガル・多文化理解の時間があり、英語に触れる機会を作っています。夏祭りで世界の祭りを取り上げたり、毎月給食に世界の料理を入れるなど、子どもが楽しみながら異文化へ関心が持てるようにしています。保育士は、その国の挨拶や簡単な言葉を学習したり、ジェスチャーを用いたり、実際にやって見せて手助けするなどし、保護者と少しずつコミュニケーションを取るよう努めています。日本語が全く通じず意思疎通が困難な場合には、通訳ボランティアを頼む用意があります。

## I-6 苦情解決体制



(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・苦情解決責任者は施設長、苦情受付担当者は主任で、重要事項説明書に明記するとともに、玄関に掲示し保護者に周知しています。
- ・第三者委員を設置し連絡先を玄関に掲示し、保護者が直接申し立てられるようにしています。玄関に意見箱を置いています。年2回のクラス懇談会、利用者アンケート（ISOアンケート）で保護者の意見・要望を聞いています。保育士は、朝夕の送迎時には保護者とコミュニケーションを取り、意見や要望を聞いています。玄関のすぐ横に事務所があり、施設長が保護者と挨拶や会話を交わし、話しやすい雰囲気を作りだしています。
- ・外部の窓口として、横浜市福祉調整委員会を紹介しています。
- ・マニュアルとして苦情解決の取り組みに関する実施要綱を整備しています。
- ・要望や苦情は、毎月のミーティングで職員に報告し、解決策について話し合っています。苦情・要望は「保護者対応シート(相談、要望、面談)」に記載し、個人ファイルとして綴じ込まれています。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="140 264 491 300">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p>  <p data-bbox="134 463 571 584">(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p data-bbox="134 607 571 678">(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="134 701 571 822">(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p data-bbox="134 844 571 1014">(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p data-bbox="134 1037 571 1108">(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="134 1131 571 1202">(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中 でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室内のおもちゃや教材は、子どもが自分で選びやすいように種別に分類して取り出しやすく収納し、子どもたちは自由に取り出して遊んでいます。また、敷物やベンチなどでコーナーを作る他、手作りのパーテーションを活用して、子どもにとって居心地の良い環境作りをしています。</li> <li>・ 自由遊び時間の子どもたちは、一人で落ち着いて絵本や図鑑をみたり、保育士と折り紙をしたり、数人でのブロック遊びやままごと遊びをするなど、それぞれに自由に遊びを楽しんでいます。一斉活動では、友達と楽しく遊ぶために守るルールを年齢に応じて学んでいます。友達を気遣う気持ちや、自分の気持ちを伝える勇気を育てています。</li> <li>・ 近隣の貸し農園を借り、花や野菜を育てる経験をしています。ヒマワリ・ジャガイモ・ピーマン・オクラ・ミントなどを栽培しています。畑にたくさん咲いたヒマワりは、子どもたちの絵の素材になっています。</li> <li>・ 自然豊かな公園が多くあり、子どもたちは季節や自然を感じて、散歩を楽しんでいます。また、3歳児からのアドベンチャー活動（遠足）では、少し遠くの公園まで歩いたり、公共の交通機関を利用してさらに遠くの公園に出かけるなどの機会を作り、地域や社会を知る体験をしています。</li> <li>・ 0歳児クラスからリトミック（リズム遊び）や、バイリンガル（英語の言葉遊び）の時間を設けています。子どもの年齢や発達に合わせた取り組みを通して子どもたちの表現力を養っています。</li> <li>・ 子ども同士のけんかについては、子どもたちが「危険なことをしない」「友達を傷つける言葉を使わない」などのルールを学びながら、自分の意見をきちんと言い合える友達関係となるように、職員は見守る姿勢です。</li> <li>・ 天気の良い日には、散歩や園庭・屋上での屋外遊びなどを積極的にとりいれています。散歩の距離設定や、園内活動での運動用具の選択など、子どもの年齢や発達に即した遊びの環境を作っています。</li> </ul>
<p data-bbox="140 1753 491 1789">Ⅱ－１ 保育内容[生活]</p>  <p data-bbox="134 1953 571 1980">(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p data-bbox="134 2002 571 2074">(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離乳食の子どもは一斉の食事とせず、一人または二人の段階ごとに丁寧に対応しています。食べ物が口に入り飲み込むまでを確認しながら、各人のペースを見極めて援助しています。</li> <li>・ 季節感のある献立として、節分・桃の節句・端午の節句・七夕・お彼岸・ハロウィン・クリスマス等に行事食メニューを取り入れています。</li> <li>・ 食器や食具は、年齢や発達に応じた大きさや形のものを多種類用意</li> </ul>

(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

し、子どもが使いやすい環境を整えています。

- ・毎月、クラス担任から子どもの喫食状況を聞き取り、この報告を反映して運営法人内の栄養士チームで検討し、その後、献立作成チームが献立を決定しています。食材の切り方や調味料の加減、盛り付け等を丁寧に打ち合わせています。
- ・毎日の給食は、玄関にサンプルを展示しお迎えの保護者に見てもらっています。また、給食の人気メニューレシピを作成し、保護者が自由に持ち帰ることが出来るように玄関に置いています。
- ・午睡時の保育室は、ロールスクリーンを降ろし、優しいオルゴールの音楽を流して、子どもたちが入眠しやすい環境を整えています。
- ・乳幼児突然死症候群の予防対策として、0～2歳児は5分毎、3～5歳児は15分毎の呼吸チェックを行っています。また、うつぶせ寝にならないように見守る配慮をしています。
- ・トイレトレーニングについては、家庭の協力を重視して進めています。家庭での取り組みの意志に呼応してクラス担任が保護者と面談をして開始しています。排泄対応については、子ども一人一人の排泄の間隔を把握し、おむつ替えやトイレの声かけを行っていますが、稀に排泄の失敗への注意の仕方に配慮に欠ける場面がありました。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。

(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・毎朝、看護師と施設長が全クラスを巡回し複数の目で子どもの健康状態の把握をしています。各クラスの「視診表」には、子どもの様子や状態に気になることがあれば書き込み、職員間で共有をしています。
- ・子どもの既往症については、入園時に健康票を提出してもらっています。毎年、年度初めに健康票を保護者に一旦戻し、必要事項を加筆の上返却してもらっています。
- ・年2回の内科健診、年1回の歯科健診・ぎょう虫検査・尿検査（3～5歳児）・視聴覚検査（4・5歳児）と、毎月の身体測定を実施し、記録に残しています。全ての健診結果は、ウェブ配信で各保護者に伝えています。健診の結果に不安が見られた場合には、看護師が必要に応じて口頭での説明も行っています。
- ・感染症等の対応に関するマニュアルがあります。「登園許可証」または「感染症届出書」が必要な感染症を一覧にし、それぞれの登園停止基準を明記して、入園時に保護者に配布する重要事項説明書に加えています。
- ・保育中に感染症が疑われる症状がある場合は速やかに保護者に連絡し、子どもは看護師が付き添い医務室で休ませ、保護者の迎えを待つようにしています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



(4)衛生管理が適切に行われているか。

- ・衛生管理に関するマニュアルがあり、マニュアルは毎年度末に運営法人全体のナースミーティングで見直しを行い、これを元に各園で加筆や資料の入れ替えなどを行っています。
- ・毎年、予測される感染症の流行前に、嘔吐処理や手洗い方法の徹底などを園内で研修しています。
- ・清掃に関するマニュアルは、対象ごとの洗浄と除菌の方法を記しラミネート加工したものをトイレに置いています。これに基づき清掃が行われ、園内は清潔です。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・「安全管理マニュアル」と「危機管理マニュアル」を作成しています。マニュアルの内容は、災害対策・不審者対応・通報手順・非常事態役割分担などの項目でわかりやすく作成され全職員へ周知しています。
- ・地震等を想定して、作り付けでない棚や備品には、耐震マットなどを用いて安全対策を講じています。
- ・職員は救急救命研修を毎年受講しています。
- ・子どものケガについては軽いものであっても必ず保護者に報告し、「アクシデントレポート」に状況と対応を記録しています。
- ・不審者侵入対策として園舎の出入り口は電子施錠し、保護者を含む訪問者は全て一人ずつの顔と名前の確認をして開錠しています。民間警備会社と契約し、速やかに通報の出来る体制があります。さらに出入り口には防犯カメラを設置しています。

## Ⅱ－３ 人権の尊重



(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

(4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・子どもの呼び方は「さん」「ちゃん」「くん」としています。子どもの人権尊重については、職員に対し施設長が折々に話す機会を作っています。さらに、職員の心得として園で大切にすることを箇条書きにして掲示しています。子どもへの言葉遣い・子どもに寄り添う姿勢などを具体的に示し、子どもの命・心・体を守る意識の共有を徹底しています。
- ・子どもが一人になりたい時や気持ちを落ち着かせたい時には、手作りのパーテーションを活用しています。また、状況に応じて医務室や事務室でしばらく過ごすこともあります。
- ・運営法人で定めた個人情報管理規定があり、守秘義務の意義や個人情報の取り扱いについて全職員に周知しています。子どもの個人情報に関する記録は、書庫に施錠して管理しています。
- ・個人情報の取り扱いについて保護者には、入園時に配付する重要事項説明書に明記し説明しています。
- ・性差に関する考え方としては、子どもや保護者に、父親母親の役割を固定的に捉えた話し方はしていません。行事の役割やグループ分けについては、子どもの希望、もしくは子どもの発達や相性等を考慮して決定し、性別で決めることはしていません。

## Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ・保育の基本方針については、入園時の説明会やクラス懇談会で保護者に説明しています。
- ・毎年、保護者に「顧客満足度調査」としてアンケートを実施しています。アンケートの内容は、サービスの品質・子どもが保育を受ける環境・スタッフの言葉遣いなど、多岐にわたっています。結果は分析し、園方針に対する保護者の意識把握に役立てています。
- ・毎日の連絡ノートは全てウェブ上で行うシステムにしています。0～2歳児クラスは個別に行い、3歳児以上は、原則としてクラス全体の様子を一斉配信の形で行っています。3歳児以上であっても、その日に確実に保護者に伝えたい事柄がある場合には、個別に配信しています。
- ・個人面談を年1回、クラス懇談会を年2回実施しています。懇談会では、クラスの目標や子どもたちの成長の様子などを、保護者に丁寧に説明し園の保育方針を理解してもらう機会としています。
- ・保護者からの相談は、相談内容により医務室を用意し、他人の目を気にせず落ち着いて話が出来るようにしています。
- ・「園だより」を、毎月発行し、保護者にウェブ配信しています。その日の保育の様子は、クラス毎の様子写真を毎日掲示し、お迎えの保護者に見てもらっています。
- ・運営法人で取り入れている「ドキュメンテーション」という乳幼児教育のアプローチがあり、子どもの発達や育ちを、写真をつけて考察し、この記録を園内に掲示しています。日常の活動の中で子どもたちが見せる育ちの瞬間を、写真とその行動の考え方で示し、具体的な理解につなげています。
- ・保育参観（主に乳児クラス）や保育参加（主に幼児クラス）は、随時受け入れています。
- ・卒園児保護者による卒園アルバム自主制作に協力し、場所の提供及び写真やコメントの提供をしています。
- ・保護者会はありません。

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神奈川区子育て支援連絡会に参加し、「横浜市親と子のつどいの広場 ママといっしょ！」での育児講座開催や、近隣保育園と共同開催の育児講座を実施しています。参加する地域住民との交流を通して、地域の子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>・ 地域への子育て支援サービスとして、「赤ちゃんの駅」事業（子育て中の親子におむつ替えや授乳の場所を提供する）に参加し、毎週火・木曜日の 9:30～14:30 に受け入れています。しかし、地域に向けての案内が不十分です。より積極的な広報の検討が期待されます。</li> </ul>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園のホームページがあり、将来の利用者に向けて詳しい情報提供を行っています。</li> <li>・ 育児相談は随時受け付けています。園からのお知らせは、園舎の歩道側の窓に掲示していますが、地域住民の目には止まりにくい位置の掲示となっています。掲示の場所や方法に、より積極的な広報の検討が期待されます。</li> <li>・ 地域住民からの相談に必要と思われる関係機関（神奈川区子ども家庭支援課・横浜市東部地域療育センター・近隣小学校等）は、一覧にして事務室に備えています。関係機関との連携は施設長が担当し、日ごろからの交流を持っています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園行事に地域住民を招待するまでには至っていません。今後、敬老の日やハロウィンに、日ごろお世話になっている地域の人々を園に招待する企画を検討しています。</li> <li>・ 地域の貸し農園を借り、畑作業を通して地元の人々との交流を深めています。農園では地域の人々が様々な形で、子どもたちの畑を手伝ってくれています。ハロウィンでは、地域の商店・医院・地区センター・ケアプラザなどにあらかじめ依頼し、子どもたちの訪問を迎えてもらっています。また、園内行事で子どもの声などが大きくなりそうな時には、園周辺のお宅に書状を持って、施設長が挨拶に回るなどきめ細かな配慮をしています。</li> <li>・ 幼保小教育連携事業の一環として近隣小学校・保育園との交流があ</li> </ul>

	<p>ります。近隣他園とは公園で待ち合わせをして一緒に遊ぶ遠足や、8園合同のサッカー大会などを、活発に行っています。</p>
<p><b>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</b></p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の利用者に向け、「ヨコハマはぴねすぽっと」（横浜市のホームページ）や「かなーちえ」（地域子育て支援拠点）に、園情報を提供しています。</li> <li>・利用希望者からの問い合わせには、見学が出来ることを案内しています。見学については園行事開催日を避け午前10時頃の、子どもたちの活動の様子が見てもらえる時間帯を勧めています。見学希望者の都合に合わせて柔軟に対応しています。</li> </ul>
<p><b>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</b></p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れの為のマニュアルがありません。</li> <li>・園児の安全確保の視点から現在の所、ボランティア受け入れに消極的となっています。今後、絵本の読み聞かせや楽器演奏などのボランティアを、受け入れていく予定です。</li> <li>・実習生受け入れの為のマニュアルがなく、受け入れの取り組みは十分なものになっていません。将来の保育士のための貴重な学びの場であり、今後の取り組みに期待されます。</li> </ul>

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長は園運営に十分な人材構成であるかを常にチェックし、人材の補充を行っています。採用は常勤職員は運営法人、非常勤職員は施設長が行っています。新人層、中堅層、トップ層がバランス良い比率が保てるようにしています。</li> <li>・職位制度に基づく人材育成計画が策定されています。新人研修、ステップアップ研修、次期リーダー研修、リーダー研修、施設長研修などの運営法人による研修があり、組織的に人材育成をしています。保育士は、自己評価シートを用い、個人目標の設定と自己評価を行っています。年2回の施設長面談で、目標設定と達成度の評価をしています。</li> <li>・内部研修として、マニュアルの見直しや救命救急、研修報告などを行っています。また、マニュアル、理念・方針、嘔吐処理などは、パソコンで好きな時に学べるようEラーニング化し、正規職員、非常</li> </ul>

勤職員とともに学習しています。内部研修には非常勤職員も参加して、研修に参加しなかった職員に対しては連絡ノートや口頭で伝達しています。職員は横浜市や神奈川区、白峰学園研修センターなどが主催する外部研修に積極的に参加しています。また、運営法人の各種研修にも参加しています。外部研修に参加した職員は、研修レポート報告書作成するとともに、毎月のミーティングで研修報告しています。研修の成果は保育室の環境整備など、様々な場面で活かされています。施設長は、報告書をチェックして保育の現場で活かされているかを評価し、研修内容の見直しをしています。

- ・保育士は、クラスでの子どもの姿を写真にとり、子どもの成長・発達とそれに対する働きかけについて考察し、ドキュメンテーションとして毎月提出しています。カンファレンスでは、提出された何件かを取り上げて話し合いをし、事例検討をしています。
- ・マニュアルは職員休憩室に置かれていて、職員はいつでも確認することが出来ます。
- ・業務にあたっては、正規職員と非常勤職員が組むようにしています。非常勤職員も嘔吐処理やマニュアルの読み合わせなどの内部研修に参加しています。また、エラーニングで学習しています。非常勤職員へのクラスでの指導担当は正規職員、最終指導責任者は施設長・主任です。施設長・主任は非常勤職員とコミュニケーションを取り、意見や要望を聞いています。

## V-2 職員の技術の向上



(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

(2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。

(3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。

・職員は自己評価シートを用い自己評価を行っています。年度末に保育園の自己評価と利用者アンケート（ISOアンケート）を基にした評価をしています。

・研修などで得た良い事例をミーティングで報告し、話し合っています。プールの着替えやトイレのスリッパの置き方、スリッパの色など、積極的に取り入れています。また、カンファレンスでドキュメンテーションによる事例検討を行い、保育の向上を目指しています。

・横浜市東部地域療育センターの巡回訪問で指導やアドバイスを受けています。

・指導計画や日誌の書式には評価・反省の欄があり、定型化されています。自己評価は計画する時に意図したねらいと関連付けて行われています。保育士は、活動やその結果だけでなく、個々の子どもの日々の姿や取り組む姿勢を大切に保育に当たっていて、評価もその視点にたっとなされています。自己評価の結果はその後の計画作成に反映しています。

・保育士個々の自己評価を基に園の自己評価を作成していますが、結果や個々の意見を報告し話し合うまでには至っていません。

・園の自己評価をホームページで公表しています。また、運営委員会で報告しています。

### V-3 職員のモチベーションの維持



(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

- ・人材育成計画に経験や能力に応じた役割や期待水準が明文化されていて、職員は自分で確認することが出来ます。
- ・クラスの運営や行事、係など、現場の職員に可能な限り権限を委譲しています。業務分担表で責任の所在を明確にしています。
- ・ミーティングでは、職員の意見や提案を聞いています。運営法人が年1回職員アンケートを実施し、満足度や意見、提案等を聞いています。また、施設長は年2回の面談で職員の満足度や要望を聞いています。面談は必要に応じて随時受け付けています。
- ・残業についての現場からの声を受けて「ノー残業デー」を作るなど、職員の業務改善に積極的に取り組んでいます。代休取得はもちろん、有給休暇の取得を促進していて、高い有休取得率となっています。

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<h3>VI-1 経営における社会的責任</h3>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス心得に職員が守るべき法・規範・倫理などが明文化されています。また、「ポピンズスタッフの心得」に職員があるべき姿を明記し、トイレに掲示し、職員がいつでも確認できるようにしています。他施設での不正や不適切な事案については、ミーティングで取り上げたり、トイレや職員更衣室に掲示し、職員に周知しています。</li> <li>・決算報告書、経営会議議事録を玄関に置き、だれでも閲覧できるようにしています。</li> <li>・ゴミの分別を行っています。廃材で手作りおもちゃを作ったり、制作の素材として用いたりしています。廊下や階段の電気使用量の削減など、省エネルギーへ取り組んでいます。緑化の推進としては、園庭で野菜や花を育てています。幼児は、給食で出た野菜の切れ端を用い、再生野菜の栽培に取り組んでいます。</li> <li>・玄関に、園の地球環境保護、節電に配慮した取り組みについて記載した文書を掲示しています。</li> </ul>
<h3>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</h3>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業理念、保育目標を玄関、スタッフルームに掲示するとともに、重要事項説明書に記載しています。</li> <li>・毎月のミーティングの時に、企業理念、保育目標を唱和しています。新入職員研修で周知するほか、必要に応じて毎月、毎週のミーティングで取り上げ、意識の向上を図っています。また、年2回の施設長面談で、職員が理解できているか確認しています。</li> <li>・保護者代表、外部委員からなる運営委員会があり、重要な意思決定にあたり意見交換しています。保護者へのウェブ配信の導入など、重要な意思決定にあたり、施設長は職員および保護者に、目的、決定理由、</li> </ul>

<p>護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>経過等を説明し、意見交換しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品・薬品管理、非常食管理、食育などの係を異なる部門の職員で編成し、組織的に取り組んでいます。</li> <li>・人材育成計画を用い、スーパーバイズできる主任クラスを計画的に育成しています。主任は色々なクラスに入って保育を行う中で、個々の職員の業務状況を把握しています。主任は、全クラスのクラスミーティングに参加し、指導やアドバイスをしています。また、指導計画や日誌等をチェックし、保育内容が理念や方針に沿っているかを確認し、必要に応じて指導しています。主任は職員の様子を見守り、話を聞いたり、相談にのったりし、個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう配慮しています。</li> </ul>
<p><b>VI-3 効率的な運営</b></p> <div data-bbox="197 792 485 878" data-label="Image"> </div> <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長は、横浜市私立保育園園長会、神奈川区園長会、神奈川区子育て支援連絡会などの各種会議や研修に参加し、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。運営に関する重要な情報は施設長、主任、リーダーからなるトップ会議で報告し、話し合っています。重要な改善課題は、ミーティングで職員に周知し、改善策について検討しています。</li> <li>・中長期計画に基づき年度ごとの事業計画を作成しています。</li> <li>・運営法人の経営会議で、次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みについて検討しています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2017年6月23日～7月7日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 68.8%（48枚配付、33枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…5人、1歳児クラス…7人、2歳児クラス…5人、3歳児クラス…7人、  
4歳児クラス…6人、5歳児クラス…3人、無回答…0人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

- ・園の保育目標・保育方針を「よく知っている」（9.1%）「まあ知っている」（45.5%）と答えた保護者の割合は合わせて54.5%、「どちらとも言えない」と答えた保護者の割合は36.4%、「あまり知らない」と答えた保護者の割合は9.1%です。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の全員が「賛同できる」（72.2%）、「まあ賛同できる」（27.8%）と答えています。
- ・項目の中で満足度が比較的高い項目は、「年間の保育や行事についての説明」「お子さんの体調への気配り」の100%、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」「保護者からの相談事への対応」「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」の97%、「クラスの活動や遊び」「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み」「給食の献立内容」「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」「園の様子や行事に関する情報提供」「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」「あなたのお子さんが大切にされているか」の93.9%です。
- ・一方、不満の割合が比較的高い項目は、「施設設備について」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」の15.2%です。
- ・「おむつはずし」についての項目は満足度が69.7%と低くなっていますが、「その他」「無回答」が合わせて21.3%となっていて、自由意見欄にも「まだわからない」「おむつはずし終了後に入園した」などの記載があります。また、「アレルギーのあるお子さんや障害があるお子さんへの配慮」の項目も満足度が81.8%で、「その他」「無回答」が18.2%となっています。
- ・総合的満足度は「満足」が51.5%、「どちらかといえば満足」が45.5%、合わせて97%と高い満足度となっています。
- ・自由記述欄には「安心して子どもを預けることができ、満足しています」という意見が多く寄せられている一方、連絡帳や行事など様々な意見がありました。

### ◆まとめ

- ・問4「保育内容」問7「職員の対応について」は、全体的に保護者の満足度が高い項目が多く、保護者が、子どもの様子を見て安心していることが、高い満足度につながっていることが読み取れます。
- ・総合満足度が高いにもかかわらず、園の保育目標・保育方針の認知度がやや低くなっています。保護者の理解を深めるための取り組みへのさらなる工夫が期待されます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2017年6月23日～7月7日

回収率：68.8%（回収33枚／配付48枚）

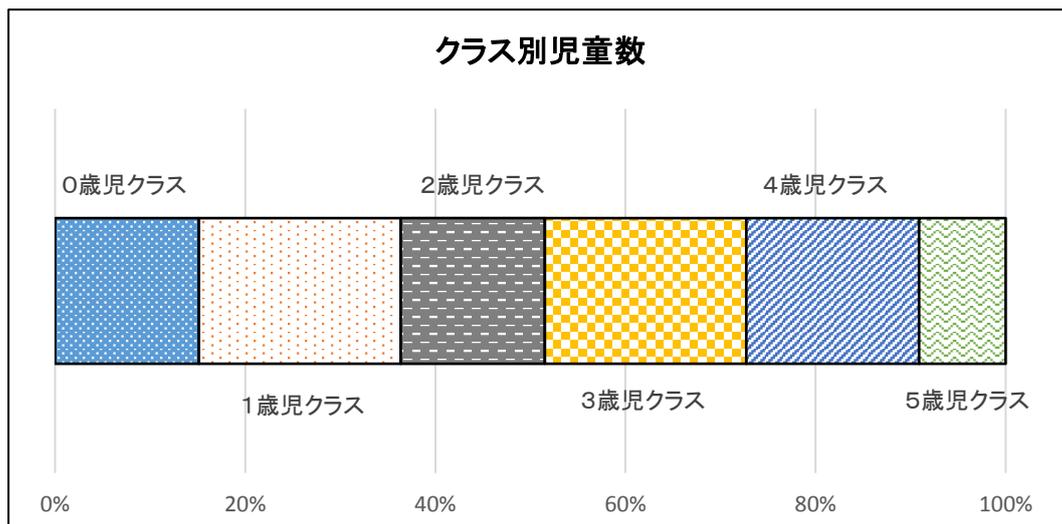
### 【属性】

#### クラス別児童数

(人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
33	5	7	5	7	6	3	0

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

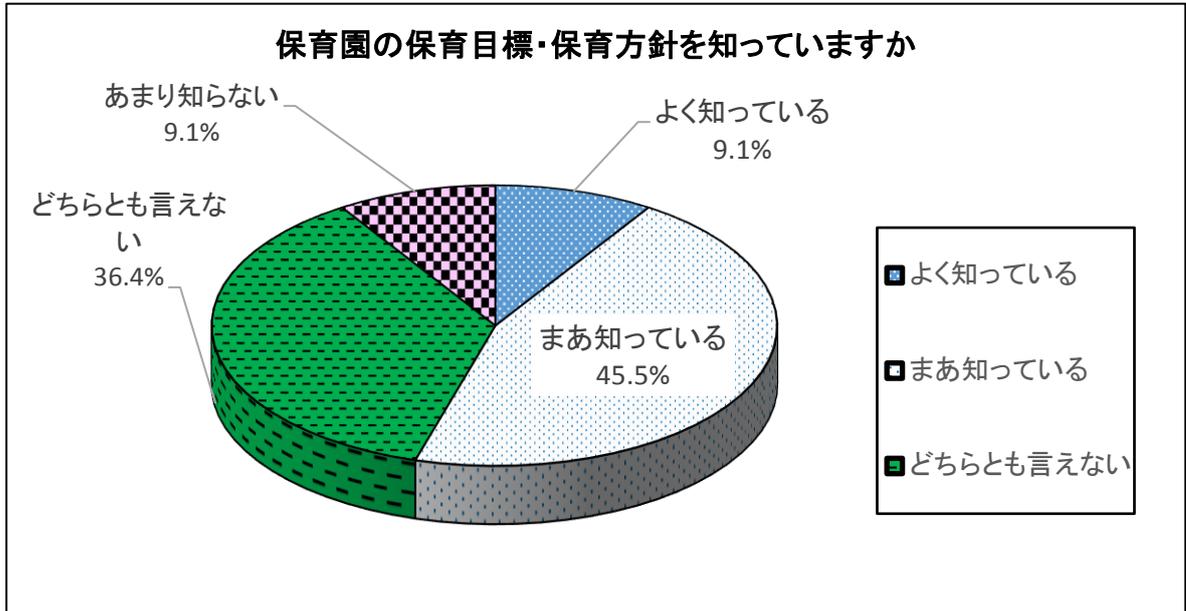


## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	9.1%	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%

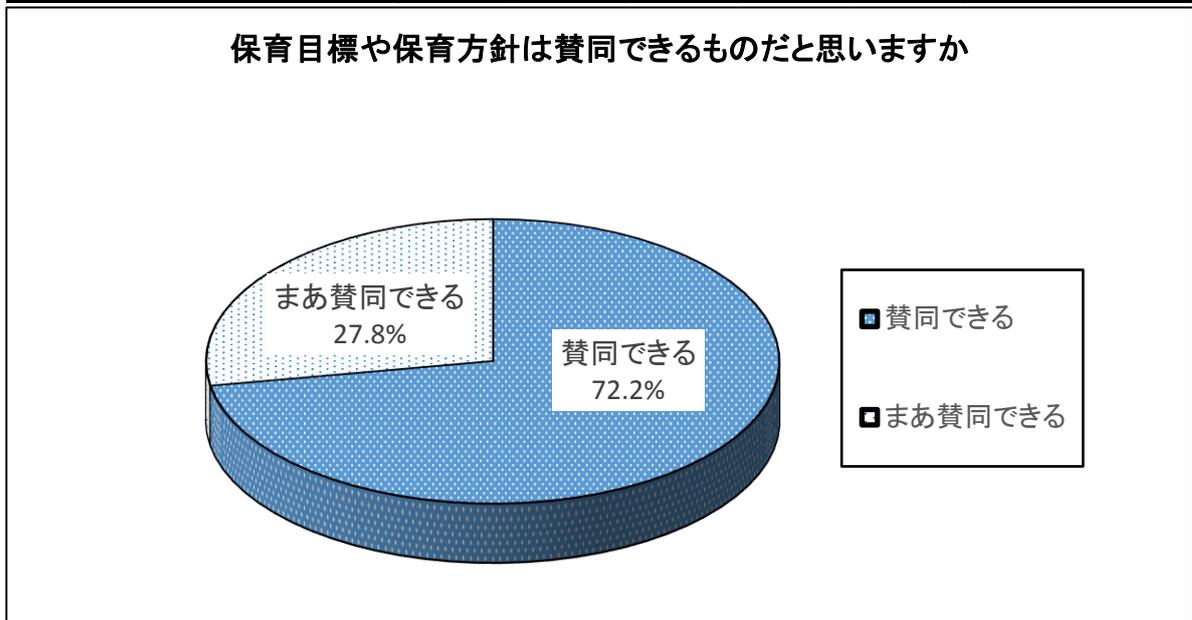
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

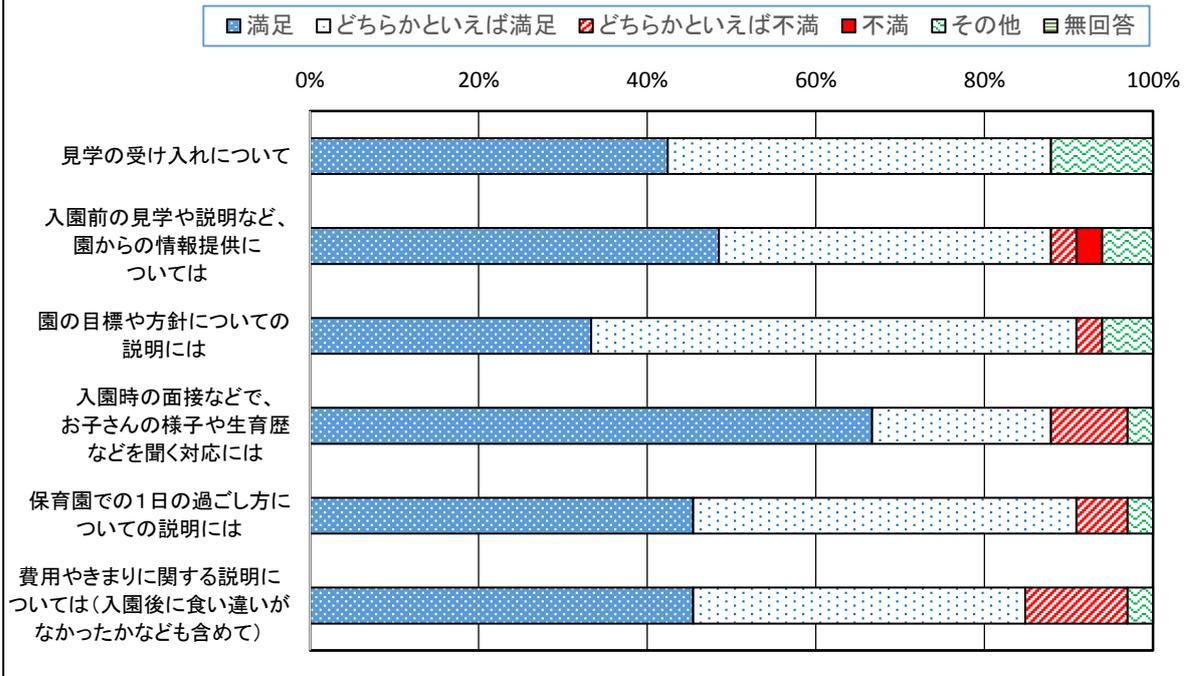


■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	42.4%	45.5%	0.0%	0.0%	12.1%	0.0%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	48.5%	39.4%	3.0%	3.0%	6.1%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	33.3%	57.6%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	66.7%	21.2%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	45.5%	45.5%	6.1%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	45.5%	39.4%	12.1%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%

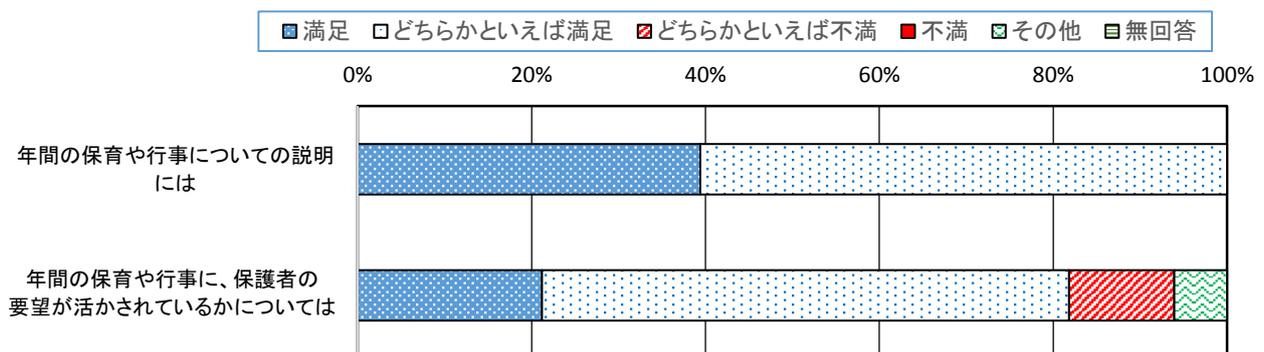
入園時の状況について



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	39.4%	60.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	21.2%	60.6%	12.1%	0.0%	6.1%	0.0%	100.0%

年間の計画について

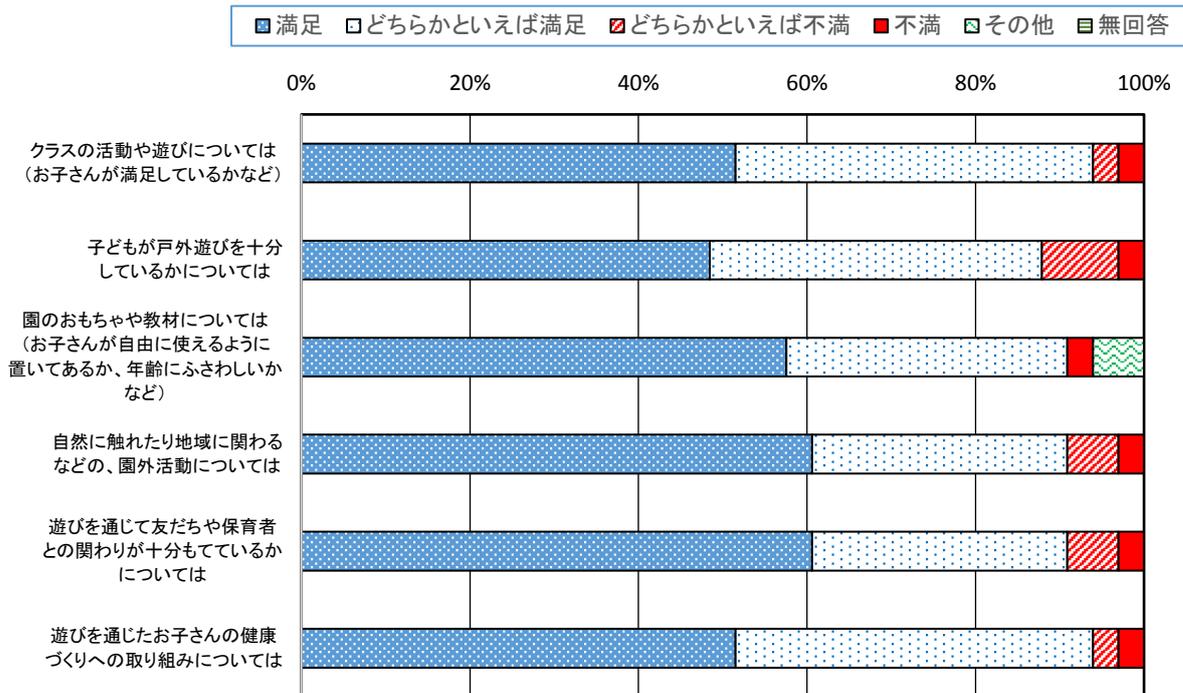


問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	51.5%	42.4%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	48.5%	39.4%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	57.6%	33.3%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	60.6%	30.3%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	60.6%	30.3%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	51.5%	42.4%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%

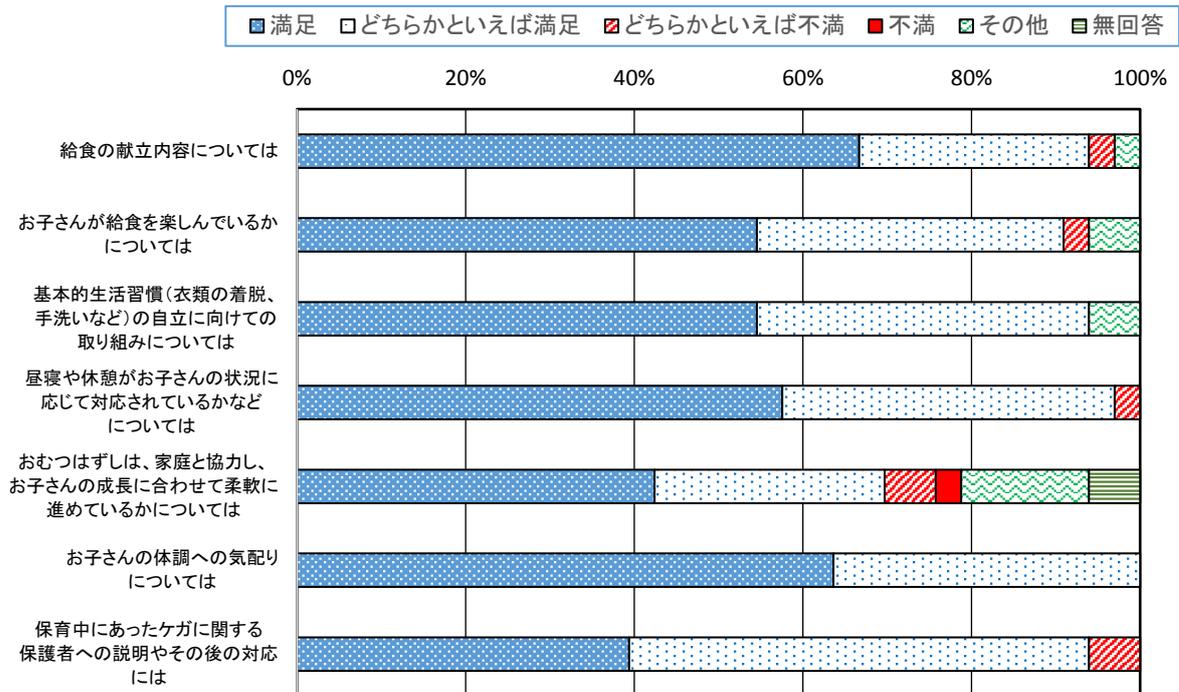
日常の保育内容「遊び」について



●「生活」について

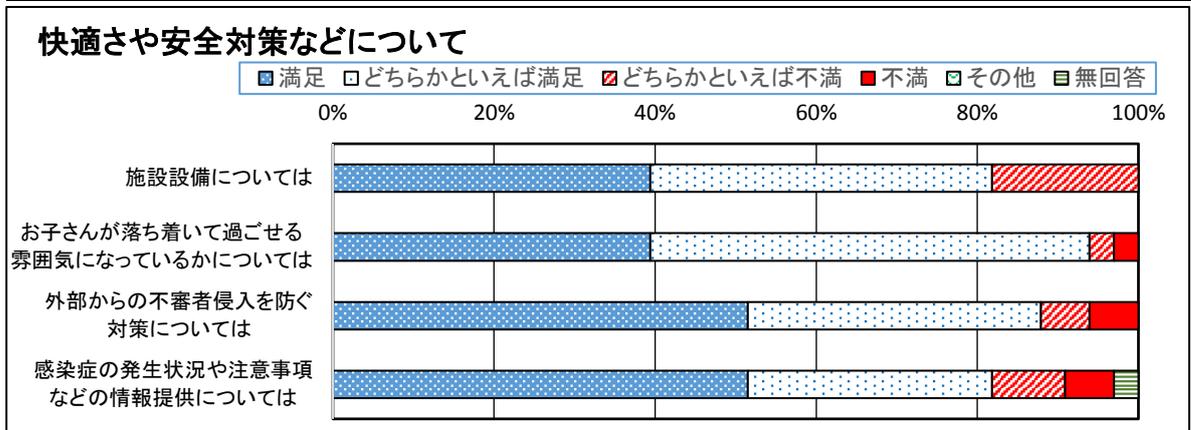
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	66.7%	27.3%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	54.5%	36.4%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	54.5%	39.4%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.6%	39.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	42.4%	27.3%	6.1%	3.0%	15.2%	6.1%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	39.4%	54.5%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「生活」について



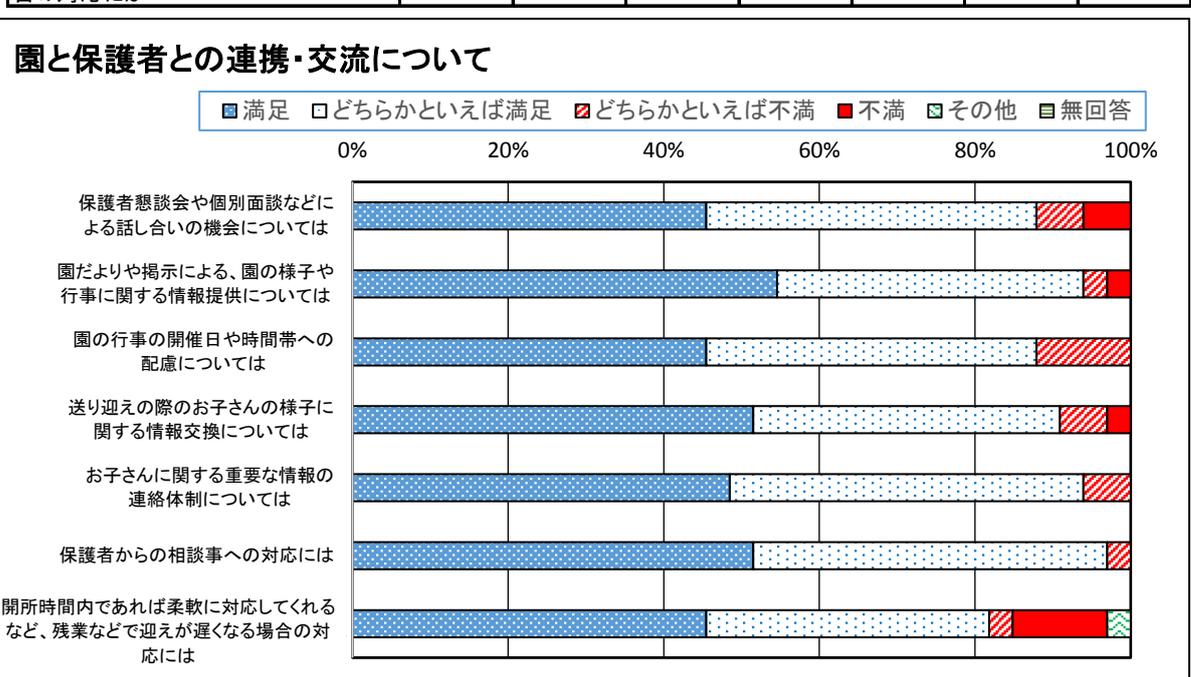
問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	39.4%	42.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	39.4%	54.5%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	51.5%	36.4%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	51.5%	30.3%	9.1%	6.1%	0.0%	3.0%	100.0%



問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

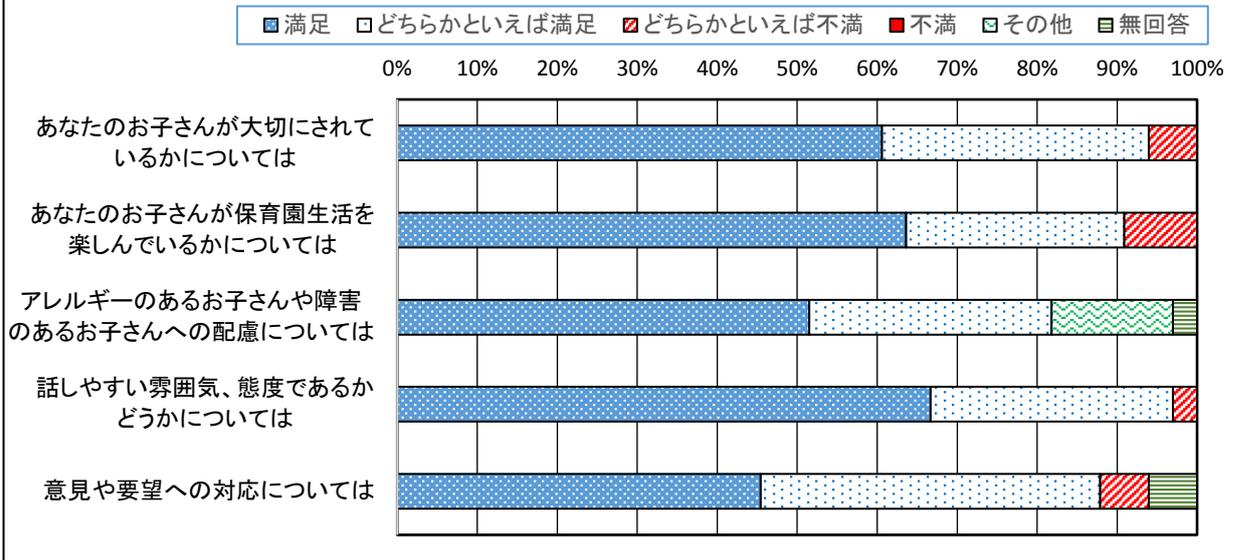
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	45.5%	42.4%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	54.5%	39.4%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	45.5%	42.4%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	51.5%	39.4%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	48.5%	45.5%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	51.5%	45.5%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	45.5%	36.4%	3.0%	12.1%	3.0%	0.0%	100.0%



問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

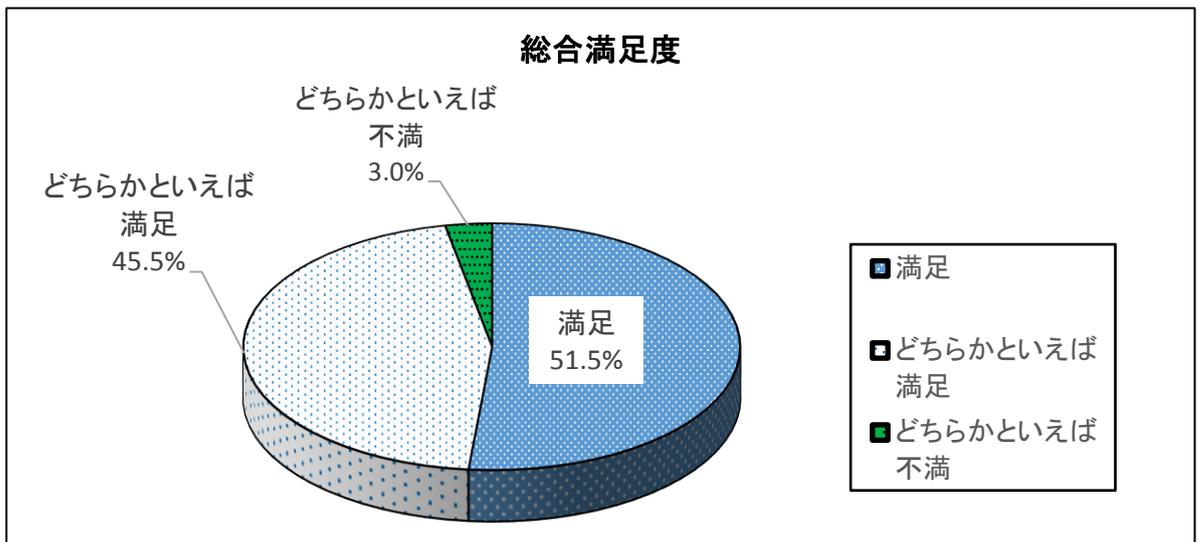
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	60.6%	33.3%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51.5%	30.3%	0.0%	0.0%	15.2%	3.0%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	66.7%	30.3%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応については	45.5%	42.4%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	100.0%

職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	51.5%	45.5%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%



## 利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①7月28日（金）9：05～12：00 ②8月3日（木）9：00～12：00

※観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### ◆ スノードロップ（0歳児クラス）

カートに分乗して、ご近所一回りの散歩に出かけます。月齢差や発達の状況がさまざまなクラスですから、カートの中で気持ちよさそうにトロトロする子どもも、カートから降りて保育士と一緒によちよち歩きをする子どももいます。住宅の庭先や畑を見ながら保育士が子どもたちに語りかけます。「ワンワンいるかな」「スイカ見える？」「大きいキュウリだね」「ほら、チョウチョ！」小さな子どもたちの、のどかな散歩風景に、ご近所の人々からも優しい笑顔が届きます。

給食は、隣の1歳児保育室に移動します。全員での食事ではなく離乳食の段階に応じて、一人二人ずつに保育士が向き合い、ゆっくり食べさせてもらいます。まだ、わからないながらも手を合わせてもらい、「いただきます」のご挨拶も練習しています。「おいしいですか」「どうぞ」「あむあむしてね」たくさん言葉かけをしてもらい、しっかりと意欲的に食事をしています。最後の順番の二人は、スプーンを自分で持っています。保育士に手伝ってもらい、食べ物を自分で口に入れられるたびに「じょうず！」と、ほめてもらい、保育士とテーブル越しにハイタッチをしています。

### ◆ プリムローズ（1歳児クラス）

全員が食卓について、給食が届くのをみんなで待っています。「1.2.3. …10、おまけのおまけのきしゅぽっぽ、ぽーっとなったらもういいかい」と、元気な声で歌っていると、お待ちかねのワゴンが到着です。大喜びの子どもたちです。子どもの発達に応じて、スプーン・フォーク・手づかみ、それぞれの食べ方での食事です。保育士は、スプーンが使えるような子どもには「スプーンさん使って食べてごらん」と勧めたり、食べにくそうになると「集まれする？」とたずねたりしながら食事援助をします。一生懸命な子どもたちに「がんばれ」や「いいねー」の応援もたくさんかけられています。

おむつ替えは、トイレのおむつ替え台で行います。ズボンを少し保育士に下げてもらい、あとは子どもたちが自分で頑張って脱いでいます。傍らから保育士に「じょうず」「すてき」と励まされ、ほめられながらの練習です。便器に座ってみるかどうか一人ずつに聞き、座る意思表示があった子どもは座ってみえています。便器での排泄が出来ても出来なくても、便器に座ることが嫌にならないように、焦らずに挑戦しています。

### ◆ ダファデル（2歳児クラス）

朝のおやつはミルクとおせんべいです。一人ずつに配られた星型のおせんべいを手に持ち「きらきら光る～」と、優しい声で歌い始める子どもがいます。隣のお友達も一緒に口ずさんでいます。

トイレトレーニングが始まり、一人ずつのタイミングで保育士がトイレに誘っています。名前を呼ばれても「いやー」や「出ない」と言って、遊びをやめたくない子どももいますが、保育士は根気よく話しかけてトイレに誘います。トイレの小さな扉の中からは、嬉しそうな「出たー！」の声が聞こえました。トイレの着替え用マットの前には、ズボンとパンツがはきやすいように広げてあります。パンツは保育士にはかせてもらい、ズボンは自分ではいてみる練習をしています。上手に引き上げて、はくことができました。

靴下がはけないでいる友達を手伝っている子どもがいます。友達は自分でやりたいので手伝われたくない様子で、小さなトラブルが発生しています。二人ともお互いの気持ちが理解できず泣きたくなくて

しまいます。保育士が二人の思いを話してきかせます。「お手伝いはらないんだって。一人でやりたいんだって。」自分一人でやり遂げたい気持ちも、友達を助けてあげたい気持ちも育っています。

#### ◆ ブルーベル（3歳児クラス）

散歩の準備が始まっています。いろいろなことが一人で出来るようになりました。全員の帽子が入っている箱から自分の帽子を探してかぶります。探し出せない子どもが「〇〇ちゃんのがない」と、つぶやいていると、隣の友達が見つめて手渡してあげています。

散歩の前の約束を保育士が話します。「お話しをしてもいいけれど、あまり大きな声で騒いでいると先生が危ないよ、と言う声が聞こえないから大きな声は無しね」保育士の「出発進行！」の声に、子どもたちからは「エイエイオー！」の掛け声です。

大きな団地の中の公園は、遊び道具が豊富です。大型のアスレチック遊具が子どもたちのお気に入りです。らせん状の滑り台や、ゆらゆら揺れる板の橋、不思議な形の登り棒…子どもたちはまたたく間に自分たちの遊び方を考え出しています。遊具の下の狭いスペースもままごとのお家になり、「ピンポン」「はいどうぞ」のやり取りが聞こえます。

#### ◆ マーガレット（4歳児クラス）

朝の時間、2歳児クラスから5歳児クラスまでの子どもたちが同じ保育室で一緒に遊んでいます。2歳児クラスの子どもたちは、テーブルで朝おやつを食べていますが、他の3クラスの子供たちはみんなそれぞれ別の遊びを楽しんでいます。ブロック・かるた・ままごと・パズル・お絵かき・絵本読み等々を、異年齢の子どもが大勢のきょうだいのように、穏やかな時間を共有しています。

今日は5歳児クラスと一緒に散歩です。5歳児クラスのお兄さんお姉さんが手をつないで、道路の内側を歩かせてくれています。公園ではみんなで一緒に、追いかっこ・アリの巣やミミズの観察・木登りなど、公園中に散らばって外遊びの楽しさを満喫しています。3歳児クラスの子供たちも少し遅れて合流です。年下の友達を遊んであげる優しい子どもたちもたくさんいます。

4・5歳児のリレー競争が始まります。コースが決められ、ルールの説明もありますが、4歳児クラスの子供には、コースもルールも少し難しいようです。分からないような時には保育士と一緒に走って応援です。本気で競い合っている楽しさに「もう一回やりたーい」の声があがります。

#### ◆ エーデルワイス（5歳児クラス）

クラスで飼っていたカブトムシが死んでしまい、どうしたら良いかを子どもたちで話し合い、公園に埋めることになりました。今日の散歩は、カブトムシを公園に埋めて、みんなでお祈りをしてから外遊びが始まっています。

鉄棒の場所の取りっこが始まり、子どもたちは保育士から「少ししかない場所をどうすれば2人で使えるか考えて」と言われています。話し合っている2人の傍らから友達が「じゃんけんで決めたら？」との提案が出て解決しました。

別の2人組が鉄棒で遊んでいます。1人は逆上がりが出来て、ついている保育士にほめてもらいました。もう1人は逆上がりが苦手だけれど、自分も上手になってほめられたい気持ちで少し機嫌が悪くなっています。「教えてあげようか」「ほら、こうやると簡単だよ」上手な友達が一生懸命教えてくれています。困っている友達を助けたり、友達の意見を聞くことができたりする、いい仲間です。

給食の時間、今日のお当番さんがテーブルを拭いて食事の準備をしています。今日の献立には、畑から自分たちで収穫してきたオクラが入っています。少し苦手な食材と組み合わせたサラダでしたが、オクラの効果もあり完食できました。

## 事業者コメント

開園から5年を迎え少しずつ地域に根付いた保育所になってきました。5年の節目の年に第三者評価を受審することで、私たちが積み上げてきた保育や今後の課題が明確になりました。

お忙しい中アンケートにご協力くださった保護者の皆様、ご理解ご協力ありがとうございました。また暖かなスタッフへのお言葉など沢山励みになる言葉を頂き職員一同感謝しております。

今回の受審で課題となった点についてはできることから徐々に取り組んでまいりたいと思います。開園から培ってきた保育ノウハウを地域社会や入園前のご家庭に支援として公開できるよう次年度の運営計画を作っていきたいと思います。

ポピンズナーサリースクール片倉町  
施設長 塚本 博

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

●市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

●横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

●かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-49 N G S 横濱馬車道 802 号室

TEL : 045-222-6539/6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>

---